

2022年10月  
特定非営利活動法人 共同連  
代表 齋藤 縣三

## 第38回共同連大会 in 多摩 開催にあたっての協賛に関するお願い

時下ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

私たち共同連は「障害者のあるなしに関わらず、共に働く場、共にくらす場をつくり、社会全体を共に生きる場としていく」ことを理念に掲げ、1984年に結成しました。2009年には、障害者に限らず社会的に排除された人たちとともに働く場として「社会的事業所」を提唱し、活動を広げています。

新型コロナウイルスの影響により2年間開催できませんでしたが、昨年は北海道・札幌にてオンラインシステムを活用して久しぶりに全国大会を開催することができました。今年度は東京・多摩にて全国大会を開催する運びとなりました。

大会のテーマを「だれもが共に働き、生きていく社会を～「利用者－支援者」ではない関係をつくらう～」と決めました。「社会的事業所」はイタリアの社会的協同組合（B型）から着想を得たものであり、2019年に共同連は労働者協同組合法の動向を踏まえて社会的協同組合を日本で実現することを目標に掲げました。みなが組合員となりともに働く組織を定めた労働者協同組合法が施行され1年が経ちます。全体会のシンポジウムは労働者協同組合の活動を社会的協同組合にどのように発展させるのかというテーマで議論し、記念講演は国内外の労働統合型社会的企業研究の第一人者である米澤旦さん（明治学院大学教授）にお話いただきます。

今大会では、4つの分科会「滝山病院強制入院・虐待事件と国連勧告」「多様な居住支援の取り組み」「働くことで人が繋がって気持ち豊かな暮らしを作っていく～働く実践～」 「共に働くみんなで話そう！」に加え、だれでも一緒に競い合えるスポーツ「ボッチャ」を体験する企画も準備しています。大会全体を通して、「利用者」と「支援者」という関係が広がってしまっている現状を脱却するための展望を描きたいと考えています

今回の大会は会場の都合により現地参加を100名に絞っておりますが、オンラインを活用して全国から多くの方が参加していただけます。

当団体の活動は、理念に共感する団体や個人に支えられているため、経済的基盤は弱い運営が続いております。そこで、貴団体におかれましては当団体が開催する「共同連北海道大会 in 多摩」に対し、協賛をお願いしたくご依頼申し上げます。協賛に際しましては、大会の資料と共同連ホームページにお名前を掲載する他、金額に応じて広告を掲載いただくことも可能です。当団体の事業にご賛同いただき、ご協賛いただけたら大変幸いに存じます。

連絡先：特定非営利活動法人 共同連  
全国事務局  
TEL：052-938-5309 FAX：052-938-5309  
メール：kyodoren@gmail.com